

心とます癒やしの音色

製鉄記念室蘭病院（室蘭市知利別町）は10月29日夜、院内コンサートと同病院ラウンジで開いた。入院患者や地域住民が管弦楽の「室蘭ジュニアオーケストラ」の美しい調べに癒やされた。（相沢宏）

院内コンサートは同病院の前身、新日鉄室蘭総合病院時代の1992年から続く行事。年に数回開き48回目になる。今回は同オーケストラの子供たちと保護者ら約40人が出演。会場には看護師らが付き添った車いすの患者

製鉄記念室蘭病院でコンサート

や地域住民ら60人が集まった。演奏会ではクラシックのビゼーの「アルルの女」や、小気味よいリズムが特徴的なルロイ・アンダーソンの「シンコペーテッド・クロック」など計7曲を披露し、管弦楽の重厚な音色が院内に響き渡った。日本の童謡・唱歌の「ふるさと」「七つの子」の演奏では、聴衆たちが演奏に合わせて歌詞を口ずさんだり、手拍子を取るなどして、楽しいひとときを過ごしていた。



入院患者や地域住民を楽しませた製鉄記念室蘭病院の院内コンサート